

新潟市感染症情報 年報（令和7年）

令和7年（2025年）の新潟市における感染症発生状況の概要です。感染症法に基づき、市内医療機関から保健所に報告された全数把握感染症、定点把握感染症および性感染症の発生動向をお知らせします。

● 全数把握感染症

感染症の種類・感染症名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和7年 [新潟県]
1 類感染症						
届出なし	0	0	0	0	0	0
2 類感染症						
結核	86	70	69	73	70	156
3 類感染症						
腸管出血性大腸菌感染症	20	18	29	11	14	33
4 類感染症						
E型肝炎	5	1	3	3	6	9
A型肝炎	0	0	1	1	1	2
つつが虫病	1	0	0	1	0	6
デング熱	0	0	0	1	0	0
日本紅斑熱	0	0	1	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	1	1
レジオネラ症	17	12	19	21	21	62
5 類感染症						
アメーバ赤痢	9	1	2	5	2	5
ウイルス性肝炎	0	1	2	0	2	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11	15	9	9	6	23
急性脳炎	7	2	9	4	5	8
クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	1	3	2	4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12	12	10	23	11	23
後天性免疫不全症候群	0	6	4	6	1	4
ジアルジア症	1	0	0	0	0	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	2	2	4	4	13
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	1	1
侵襲性肺炎球菌感染症	13	10	17	14	17	43
水痘（入院例）	0	1	1	3	4	6

感染症の種類 ・ 感染症名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和7年 [新潟県]
梅毒	32	78	69	74	71	118
播種性クリプトコックス症	3	0	3	1	1	3
破傷風	2	1	0	0	0	2
百日咳	23	23	10	64	1,301	3,985
風しん	0	0	0	0	0	0
麻しん	0	0	0	0	0	0
計	244	254	261	321	1,541	4,515

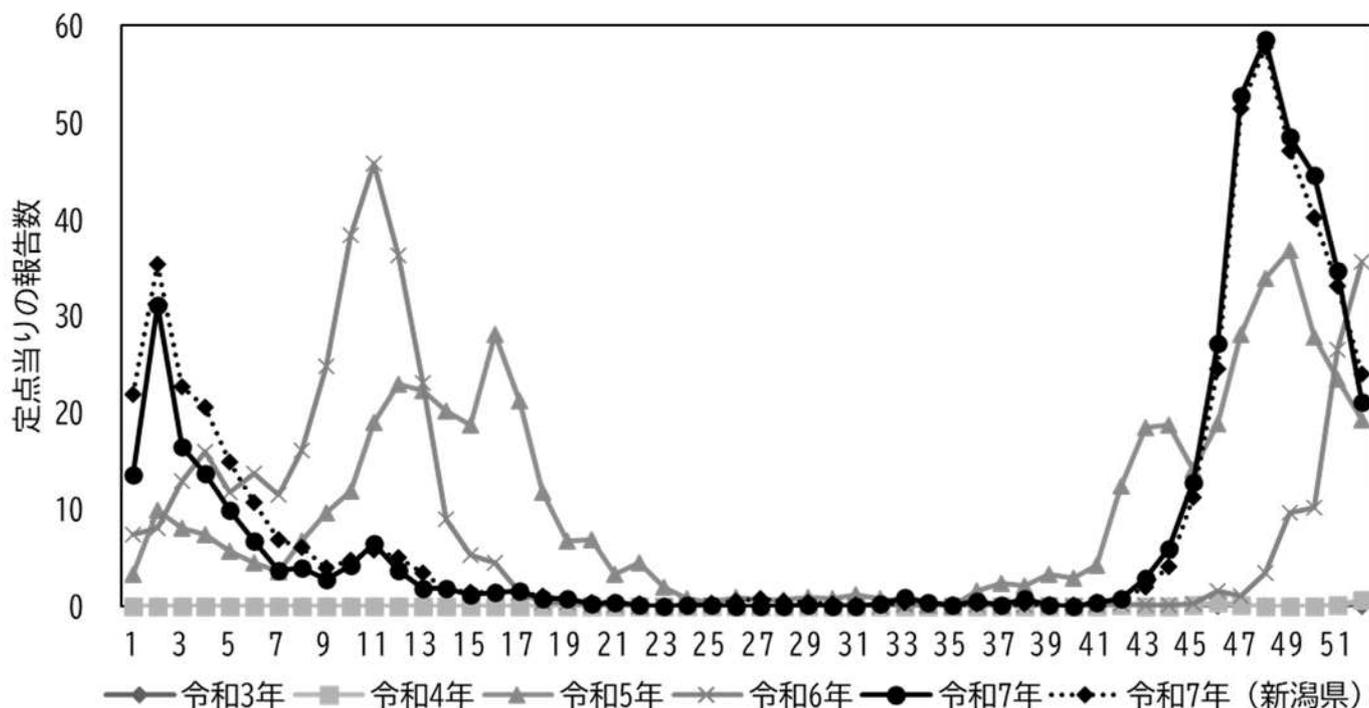
※令和7年の報告数は暫定値のため、後日変更される場合があります

《全数把握感染症の発生概況》

- 新潟市で記録が残る1982年以降、初めてのボツリヌス症が発生しました。本事例は、不適切な条件で保存された「気密性のある容器包装詰め」の要冷蔵食品の摂食を原因とする食餌性ボツリヌス症と推定されています。
- 百日咳は年間1,301件と平年値を大きく超え、第17週（4月21日～27日）でのピーク時には週当たりの報告数は74件まで推移しました。
- 麻しん、風しんの市内発生はありませんでした。

● 定点把握感染症（抜粋）

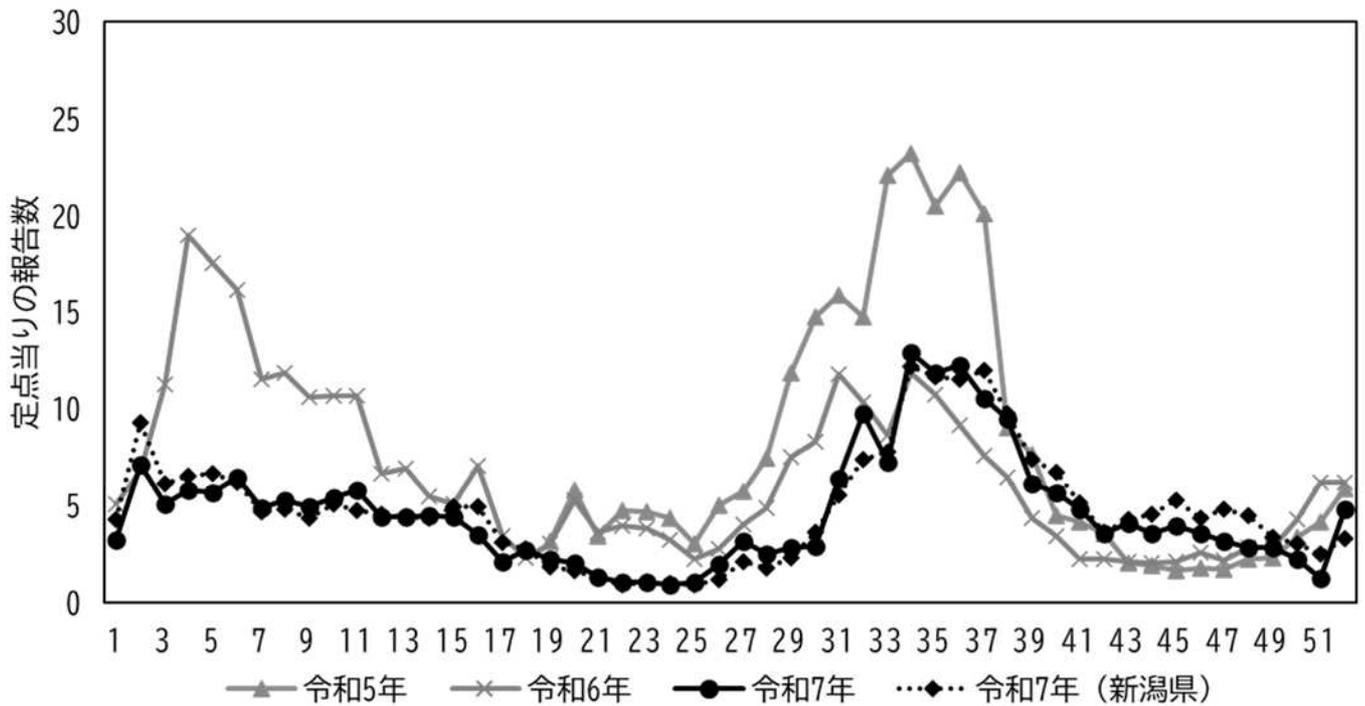
(1) インフルエンザ



《インフルエンザの発生概況》

- 令和6年からの感染流行は年明けから漸減し、第11週（3月10日～16日）にわずかな増加を認めたのちに収束しました。令和7年のシーズンは、第43週（10月20日～26日）に流行期に入り、第48週（11月24日～30日）には定点当りの報告数が59件と大きなピークとなりました。

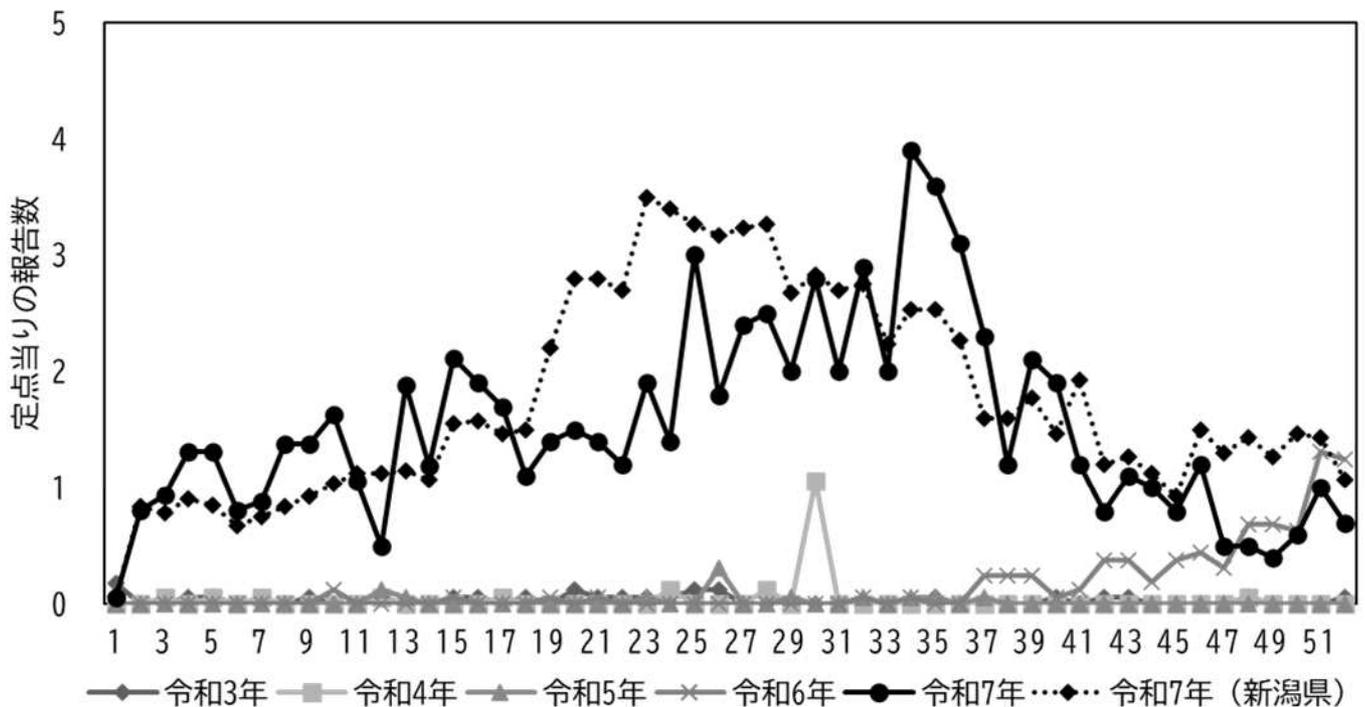
(2) 新型コロナウイルス感染症



《新型コロナウイルスの発生概況》

- 第25週（6月16日～22日）から増加傾向を示し、お盆明けの第34週（8月18日～24日）に発生ピークを迎えました。冬場のピークはあまり明瞭とはならず、なだらかに推移しました。

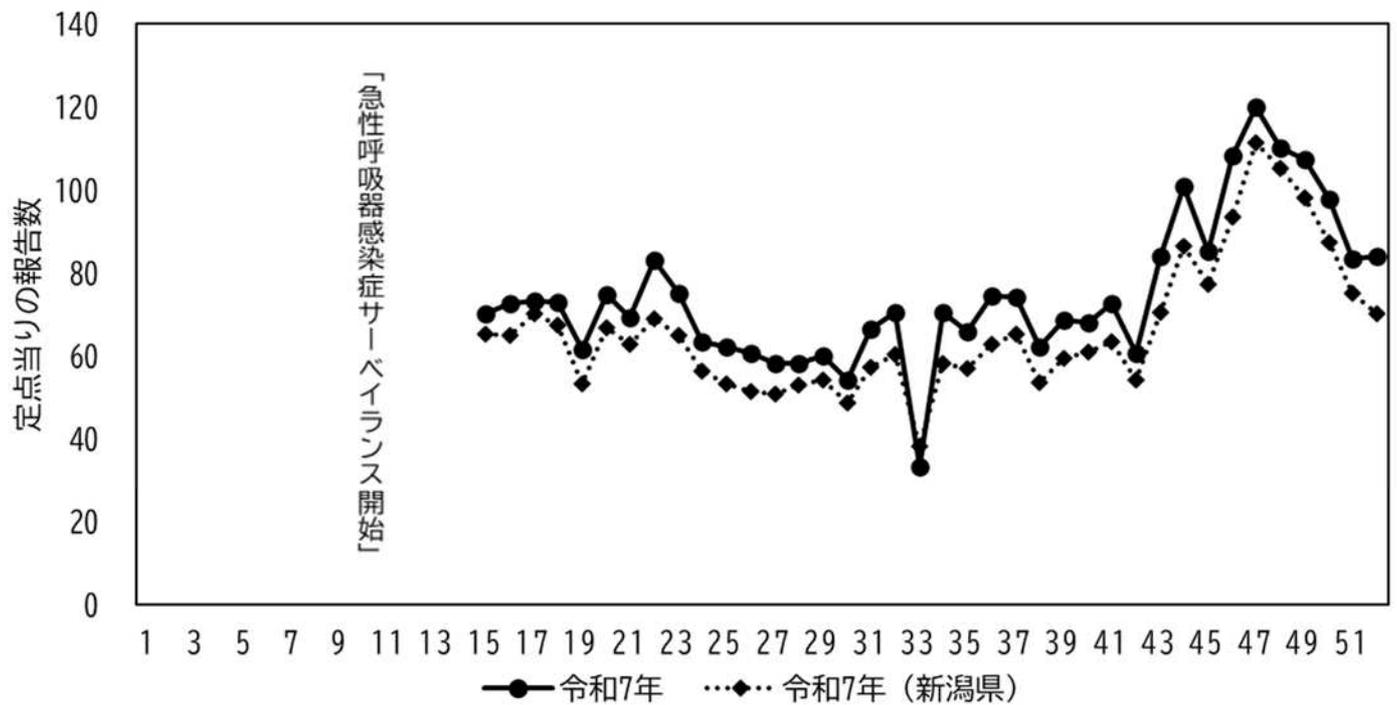
(3) 伝染性紅斑（リンゴ病）



《伝染性紅斑の発生概況》

- 令和6年秋口から増加傾向にあった伝染性紅斑は、第15週（4月7日～13日）に警報基準を超え、市内に警報が発令されました。その後、警報は第41週（10月6日～12日）まで継続しました。

(4) 急性呼吸器感染症 (ARI)



「急性呼吸器感染症 (ARI) の発生概況」

- 令和7年4月7日(第15週)から急性呼吸器感染症サーベイランスが開始されました。新潟市と新潟県全体は、ほぼ同様の推移を示しました。

● 性感染症

感染症名	定点当りの報告数	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
性器クラミジア感染症	新潟市	13.33	15.67	22.20	32.20	24.67
	新潟県	20.27	21.93	24.60	26.53	24.64
	全国	30.52	30.66	31.78	30.38	-
性器ヘルペスウイルス感染症	新潟市	4.00	4.17	3.60	5.40	5.67
	新潟県	4.73	6.13	6.27	6.00	8.14
	全国	9.14	8.86	9.62	10.20	-
尖圭コンジローマ	新潟市	0.83	1.33	2.60	4.60	2.33
	新潟県	3.27	3.87	5.00	6.07	3.86
	全国	5.70	6.08	6.73	6.51	-
淋菌感染症	新潟市	3.50	3.67	4.20	8.00	6.33
	新潟県	6.13	7.00	6.80	7.53	6.50
	全国	10.58	10.17	9.83	8.96	-

※令和7年の全国の定点当り報告数は現在集計中のため、掲載していません

「性感染症の発生概況」

- 性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症は前年より減少しました。
- 性器ヘルペスウイルス感染症は微増しましたが、新潟県平均を下回っています。